ひよっこnれぽ

【静脈注射（翼状針）演習】

９月１日から９月 25 日まで「静脈注射（翼状針）演習」を開催しました。１回の演習は 90 分で全 13 回実施し、新卒看護師 31 名の参加がありました。教育担当者とマンツーマンで演習・評価を行い、安全に施行するための目的や方法などを学びました。

【研修目標】
- 静脈注射の特性、分類、合併症などが理解できる
- 安全管理に関する基礎看護技術７項目評価表の翼状針、抜針、側管注の技術が習得できる

【研修内容】

１．事前課題

１）DVD「安全で確かな静脈注射」視聴

２）安全管理に関する基礎看護技術７項目のうち、翼状針、抜針、側管注の自己評価を実施

３）参考動画「点滴静脈内注射～刺入から抜針まで～」の視聴

２．演習（60 分）

１対１で演習指導者用手引きに沿って、翼状針、抜針、側管注の一連の動作を実施

３．評価（30 分）

安全管理に関する基礎看護技術７項目のうち、翼状針、抜針、側管注の教育担当者による他者評価を実施

【注射指示確認】
5 Right 確認を一緒にお願いします

【必要物品準備】
輸液セットは…
固定のテープは…

【患者説明】
先生から点滴の説明はありましたか？

【穿刺部位の選択】
どういう血管を選ぶ？

できるだけまっすぐで弾力があって

【穿刺】逆血あった！

【滴下確認】
滴下速度は、2 秒に 1 滴で調整します

腫脹などの刺入部位の観察もしましょうね

【側管注の注入速度】
早すぎるとどんな危険がある？

血管痛や心負荷がかかります

【輸液の感染経路】
チャンバーの日付が５日間を過ぎてたら？

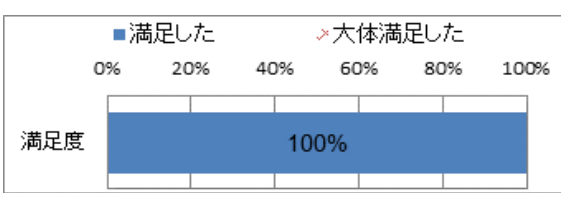
全てのライン交換!

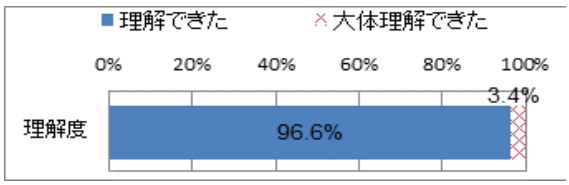
【抜針】
固定爪を指で押しながら手前に引いてっと。

大事なポイントがいくつもありましたが、１対１で丁寧に指導してもらいました。
自信をもって安全に実施できるように何度も復習しましょう!!

確認しながら実践を積み重ねてくださいね!

●アンケート結果





●今回の研修へのご意見・ご感想

- １対１だったので自分が理解できてないことが分かって良かった
- 改めて 5Right の大切さを感じ、実践でもしっかり確認したいと思った
- 実際の場面を想定して演習したので、緊迫感を持ちながら技術を身につけることができた
- 実際にルートを取るのは難しかったが、患者にきちんと説明して、安全に投与したいと思った
- 事前の準備や手順をしっかり確認した上で行うことが大事だと分かった

作成者：看護研修センター　岸山好美